

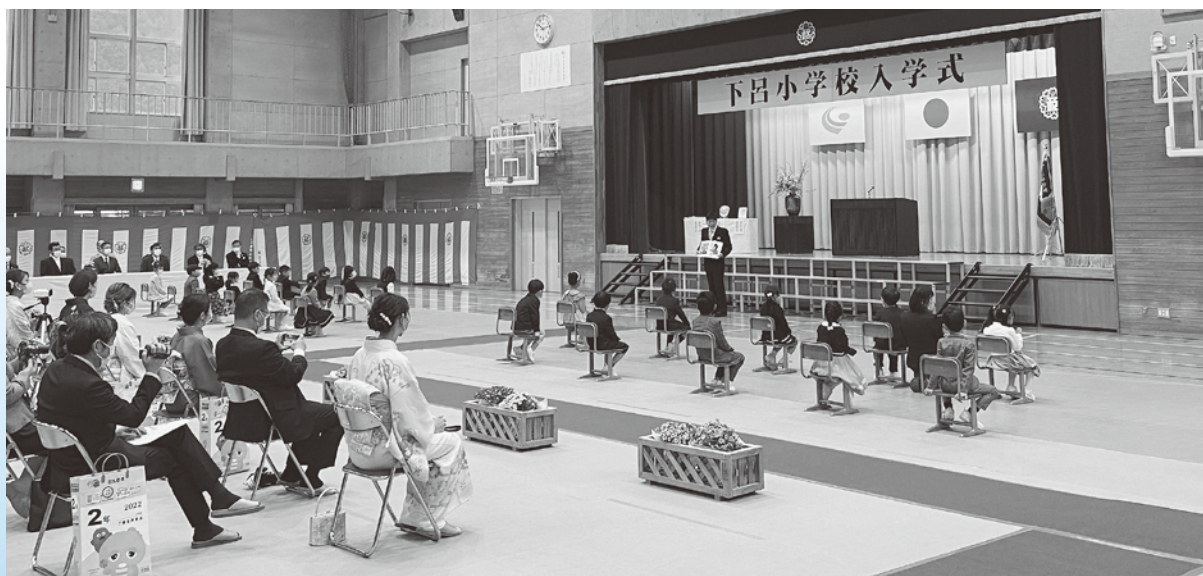


# 下呂市 議会だより

GERO CITY  
assembly

76

令和5年5月1日



## 【令和5年度下呂市立下呂小学校入学式】

令和5年4月7日、下呂小学校において、入学式が執り行われました。新一年生21名が保護者、来賓や教職員の皆さんに見守られる中、下呂小学校児童の仲間入りをしました。また、今年度は、令和4年度末に閉校した中原小学校の児童を迎え、全校児童242名による新生下呂小学校のスタートとなりました。

- 1月臨時会の報告(審議結果)・3月定例会の報告(審議結果) (P 2~P 5)
- 予算特別委員会、常任委員会報告(審査結果、委員会報告) (P 6~P 8)
- 一般質問(会派代表質問、個人質問) (P 9~P 15)
- 特別委員会報告、議会基本条例達成状況の検証結果 (P 15~P 17)
- 常任委員会管外視察報告、6月定例会日程、編集後記 (P 18)

## 1月臨時会の報告

1月31日、令和5年第1回下呂市議会臨時会を開催し、令和4年12月中のふるさと寄附金の急増に伴う返礼品等の必要経費の不足、および大雪警報が発表されるなど降雪や低温による除排雪・凍結防止剤散布経費の増加に対応した増額補正予算に係る専決処分の承認、また、出産・子育て応援交付金事業や観光客誘致対策事業、旧下呂温泉病院リハビリ棟跡地駐車場整備に係る詳細設計業務、電気料高騰対策として、小中学校屋内運動場照明のLED化と社会体育施設の電気設備工事を前倒して実施するためなどの補正予算を可決しました。

### 上程議案と審議結果

★各上程議案の詳細は、下呂市ホームページをご覧ください。  
(右のQRコードを読み取るとホームページが閲覧できます)



○全会一致で可決した議案【市長提出議案】

議 案 名	付託委員会	審議結果
専決処分の承認について（令和4年度下呂市一般会計補正予算（第13号））	—	承認 (全会一致)
令和4年度下呂市一般会計補正予算（第14号）	予算	可決 (全会一致)

## 3月定例会の報告

2月24日から3月24日までの29日間において、令和5年第2回下呂市議会定例会を開催しました。初日には、人権擁護委員候補者の推薦、教育委員会委員任命の同意、条例改正、コロナ・原油高・物価高対策としての市民生活・社会経済活動の回復支援、および電気料・燃料等の高騰に対応した市有施設の管理費、指定管理料の補正予算などを可決しました。

また、最終日（3月24日）には、教育委員会教育長任命の同意、指定管理者の指定、財産の譲与、条例制定改廃、令和5年度の一般会計、特別会計および公営企業会計当初予算、新型コロナウイルスワクチン接種に係る補正予算などについて可決しました。

### 上程議案と審議結果

★各上程議案の詳細は、下呂市ホームページをご覧ください。  
(右のQRコードを読み取るとホームページが閲覧できます)



○全会一致で可決した議案【市長提出議案】

議 案 名	付託委員会	審議結果
人権擁護委員候補者の推薦について	—	適任 (全会一致)
人権擁護委員候補者の推薦について	—	
下呂市教育委員会委員の任命について	—	同意 (全会一致)
下呂市教育委員会教育長の任命について	—	
令和4年度下呂市一般会計補正予算（第15号）	—	可決 (全会一致)
令和4年度下呂市国民健康保険事業特別会計（事業勘定）補正予算（第5号）		
令和4年度下呂市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）		
令和4年度下呂市介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）補正予算（第5号）		
令和4年度下呂市介護保険特別会計（保険事業勘定）補正予算（第5号）		

## ○全会一致で可決した議案【市長提出議案】

議案名	付託委員会	審議結果
令和4年度下呂市国民健康保険事業特別会計（診療施設勘定）補正予算（第5号）	—	可決 (全会一致)
令和4年度下呂市下呂財産区特別会計補正予算（第3号）		
令和4年度下呂市学校給食費特別会計補正予算（第2号）		
令和4年度下呂市水道事業会計補正予算（第5号）		
令和4年度下呂市下水道事業会計補正予算（第3号）		
令和4年度下呂市下呂温泉合掌村事業会計補正予算（第4号）		
下呂市行政組織条例の一部を改正する条例について	総務	
下呂市基金条例の一部を改正する条例について		
財産の譲与について		
財産の譲与について		
財産の譲与について		
下呂市第2号会計年度任用職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について		
下呂市定年前に退職する意思を有する職員の募集等に関する条例の一部を改正する条例について		
下呂市職員の退職管理に関する条例の一部を改正する条例について		
下呂市職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例について		
下呂市非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について		
下呂市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例について		
下呂市税条例等の一部を改正する条例について		
下呂市有線テレビ施設の設置及び管理に関する条例を廃止する条例について		
下呂市金山温泉スタンド条例の一部を改正する条例について		
下呂市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について		
下呂市国民健康保険条例の一部を改正する条例について		
下呂市附属機関設置条例の一部を改正する条例について		
下呂市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について		
下呂市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について		
下呂市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について		
下呂市放課後児童クラブ条例の一部を改正する条例について		
下呂市文化財保護条例の一部を改正する条例について		
下呂市ふれあい広場条例について	産経	
令和5年度下呂市水道事業会計への繰出について		
令和5年度下呂市下水道事業会計への繰出について		

# GERO CITY assembly

## ○全会一致で可決した議案【市長提出議案】

議案名	付託委員会	審議結果
令和5年度下呂市国民健康保険事業特別会計（事業勘定）予算	予算	可決 (全会一致)
令和5年度下呂市介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）予算		
令和5年度下呂市国民健康保険事業特別会計（診療施設勘定）予算		
令和5年度下呂市下呂財産区特別会計予算		
令和5年度下呂市学校給食費特別会計予算		
令和5年度下呂市水道事業会計予算		
令和5年度下呂市下呂温泉合掌村事業会計予算		
令和5年度下呂市立金山病院事業会計予算	—	
令和5年度下呂市一般会計補正予算（第1号）		

## ○全会一致で可決した議案【議会提出議案】

議案名	付託委員会	審議結果
下呂市議会委員会条例の一部を改正する条例について	—	可決 (全会一致)

## ○賛否が分かれた議案【①市長提出議案／②議会提出議案】

○…賛成 ×…反対

議案名	議員名												付託委員会	審議結果		
	鷺見昌己	田口琢弥	飯塚英夫	森哲士	田中喜登	尾里集務	中島ゆき子	田中副武	今井政良	伊藤厳悟	一木良一	吾郷孝枝			中島新吾	中島達也
①	下呂市個人情報の保護に関する法律施行条例について	○	○	○	○	○	○	○		○	○	×	×	○	総務	可決 (賛成多数)
	下呂市個人情報保護審査会条例について	○	○	○	○	○	○	○		○	○	×	×	○		
	令和5年度下呂市一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	×	×	○	予算	
	令和5年度下呂市後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○		○	○	×	×	○		
	令和5年度下呂市介護保険特別会計（保険事業勘定）予算	○	○	○	○	○	○	○	長	○	○	×	×	○		
令和5年度下呂市下水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○		○	○	×	×	○			
②	下呂市議会の個人情報の保護に関する条例について	○	○	○	○	○	○	○		○	○	×	×	○	—	

## 3月定例会の議案審議の詳細

### 議第2号 【全会一致で可決】

森8号線道路改良(2-1)工事請負契約の変更契約の締結について

(市長提出議案:委員会付託なし)

- 契約の方法:事後審査型条件付き一般競争入札
- 契約金額:変更前 194,700,000円 変更後 203,380,100円
- 契約の相手方:下呂市森 曙開発株式会社

### 議第3号 【全会一致で可決】

森8号線道路改良(2-2)工事請負契約の締結について

(市長提出議案:委員会付託なし)

- 契約の方法:事後審査型条件付き一般競争入札
- 契約金額:221,100,000円
- 契約の相手方:下呂市森 曙開発株式会社

### 議第46号 【賛成多数で可決】

令和5年度下呂市一般会計予算

(市長提出議案:予算特別委員会審査付託)

主な新規・拡充事業

#### ●建設総務課

【事業名】飛騨川公園整備事業 ★新規事業

予算額:44,717千円(前年度比44,717千円増)

公園内の施設や設備が老朽化し、更新時期を迎えているため、維持管理に必要な修繕を行うと共に、市内拠点公園として多世代間の交流が行えるよう再整備する。

主な整備内容:駐車場整備、グラウンド改修、管理棟改修  
※まちづくり推進部所管予算にて大型複合遊具を設置

#### ●建設課

【事業名】市道補修事業 ★拡充事業

予算額:170,000千円(前年度比59,649千円増)

市道施設の維持補修工事、市道施設・法定外道路施設の補修業務委託および原材料支給等に要する経費。

【事業名】河川・排水路補修事業 ★拡充事業

予算額:70,000千円(前年度比51,430千円増)

普通河川・排水路等の維持補修工事費用、施設維持管理の補修業務委託および原材料支給等に要する経費

※修繕料と委託料を委託料に集約して、市道・河川・排水路維持修繕を一括業務として発注することで地区要望等にスピーディーに対応する。

※各振興事務所の地域振興事業の関係予算も上記事業に集約する。

#### ●こども家庭課

【事業名】地域子育て支援拠点事業臨時 ★拡充事業

予算額:359,146千円(前年度比358,542千円増)

新子育て支援施設建設経費

建設工事費:340,000千円 工事監理業務委託費:7,608千円

備品購入費:8,000千円 消耗品費:2,500千円 他

### 議第20号 【全会一致で可決】

下呂市金山リバーサイドスポーツセンター等の指定管理者の指定について

(市長提出議案:総務教育民生常任委員会審査付託)

- 施設の名称:下呂市金山リバーサイドスポーツセンター  
下呂市金山リバーサイドスタジアム  
ぬく森の里運動公園

- 指定管理者となる団体の名称:スポーツマックス・三幸共同事業体

- 指定の期間:令和5年4月1日から令和8年3月31日まで(3年)



### 議第21号 【全会一致で可決】

下呂市道の温泉駅「かれん」の指定管理者の指定について

(市長提出議案:総務教育民生常任委員会審査付託)

- 施設の名称:下呂市道の温泉駅「かれん」
- 指定管理者となる団体の名称:株式会社ジェック経営コンサルタント
- 指定の期間:令和5年4月1日から令和10年3月31日まで(5年)

### 議第34号 【全会一致で可決】

下呂市道の温泉駅かれん条例の一部を改正する条例について

(市長提出議案:総務教育民生常任委員会審査付託)

- 施設名称を利用者にとって分かりやすい名称に変更するため、改正を行うもの。
- 下呂市道の温泉駅「かれん」から下呂飛騨金山ぬく森の里温泉に変更する。



### 議第22号 【全会一致で可決】

下呂市飛騨小坂ふれあいの森の指定管理者の指定について

(市長提出議案:産業経済常任委員会審査付託)

- 施設の名称:下呂市飛騨小坂ふれあいの森
- 指定管理者となる団体の名称:合同会社 灯りや
- 指定の期間:令和5年4月1日から令和8年3月31日まで(3年)



★QRコードから3月定例会の議案の提案説明から採決までの映像を動画共有サービス「Youtube」にて視聴できます。

議案審議の詳細  
令和5年2月24日  
(定例会初日)



議案審議の詳細  
令和5年3月24日  
(定例会最終日)



## 令和5年度下呂市当初予算(一般会計では合併以降5番目の規模)

◆ **一般会計**  
 《福祉や教育、道路整備など幅広い住民サービス》 **228億9,000万円** (対前年度比 3.4%減)

◆ **特別会計**  
 《国民健康保険、介護保険など特定の事業7会計》 **83億1,963万円** (対前年度比 0.6%増)

◆ **企業会計**  
 《上下水道、下呂温泉合掌村、金山病院事業会計》 **68億5,096万6千円** (対前年度比 0.8%増)

**総額 380億6,059万6千円** (対前年度比 1.8%減)

### 予算特別委員会

3月15日から17日および20日の4日間、委員会を開催し、令和5年度における一般会計、7特別会計、4公営企業会計の当初予算について審査し、全て可決すべきものと決しました。

なお、一般会計では、新子育て支援施設の建設、飛騨川公園の再整備、子どもの福祉医療費助成対象の拡大、地域医療デジタル連携の推進、森林環境譲与税を活用した森林整備などを含め、合併後過去5番目の規模となる予算となりました。

#### 《税収の見込みについて》

**Q** 人口減少が予測される中で個人市民税が増額見込みとなっているが、その根拠は。

**A** 令和4年度の状況を見ますと、給与所得者は100名以上減少していますが、所得額は、5億円以上増額しており、それらを根拠に予算計上しました。最低賃金の引き上げや、雇用の回復基調が要因と考えています。

#### 《デジタルトランスフォーメーション推進事業について》

※デジタル通知サービスのアプリを使用し、市民の利便性向上を図るため、アプリの普及策として、

地域通貨型の電子ポイント付与事業を実施。

**Q** 付与された電子ポイントの使用方法についての考えは。

**A** 商工会等と連携させていただき、市内の商工会加盟店で使えるような形で普及させていきたいと考えています。

#### 《南飛騨国際健康保養地啓発事業について》

※南飛騨健康増進センター周辺エリアの活性化に向けて、地域住民と協働して「食と農の健康プラン」を策定。

**Q** 「食と農の健康プラン」の策定を委託することになっているが、想定する委託先は。また、食と農に限定したプランとなるのか。

**A** 委託先は、プロポーザル(事業提案方式)等で決定していこうと考えています。集客につながる地元で採れた食材を使ったメニュー開発も進めることから料理研究家等から専門的なアドバイスを受けることも想定しています。まずは食と農を核にしたプランとしますが、豊富な森林を活用したサービス産業も加え、魅力を外向きに発信していけるプランとしたいと考えています。

#### 《図書館の運営について》

※市内図書館における図書サービスの充実を図るため、新たに専任館長を配置。

**Q** 専任館長の配置先と業務内容は。

**A** 館長は、下呂市民会館内の地域振興課への配置ですが、業務に応じて市内各図書館を巡回することになります。主な業務としては、図書館サービスの向上を図るための運営方針と施設整備計画の立案、関係機関との連絡調整、職員の人事労務管理、要望、苦情等への対応などを担います。

#### 《県立下呂温泉病院と市立金山病院の連携について》

**Q** 金山病院の経営改革が求められている中で下呂温泉病院との連携のあり方は。

**A** 岐阜県と下呂市、そして下呂温泉病院と金山病院の4者協議の場が今ようやく立ち上がったところです。今後、下呂温泉病院と金山病院の役割分担を明確にし、その役割の中で市民の皆さまが有効に活用できる、そんな連携のあり方を模索していきたいと考えます。

#### 《子ども園への通園バスについて》

※通園バスに置き去り防止のための安全装置を新たに設置。

**Q** 通園バス運行の受託者が所有するバスにも安全装置は設置されるのか。また、保育士の負担軽減のため、通園バスへの添乗業務を委託する考えは。

**A** 通園に使用している市所有バスに加え、受託者所有バスについ

ても安全装置を設置します。また、地域からの要望により通園バスに保育士が添乗している場合もあります。今後の検討課題とさせていただきます。

### 《もえるごみの収集方法の変更に ついて》

**Q** 家庭等のごみの出し方の変更によるごみの処理財源への影響は。

**A** もえるごみ専用袋の販売収入が年間約3700万円ありましたが、変更後の収入は、無料もえるごみ処理券を使い切った段階で購入いただく有料処理券の販売収入のみのため、約3000万円から4000万円が収入減となる見込みです。今回の変更は、市民の皆さまの経済的な負担軽減に併せ、ごみの総排出量の抑制を目的としており、それが次代のクリーンセンターの建設コストダウンにつながるものであることもしっかりと周知していきたいと考えます。

### 《森林環境譲与税の有効活用について》

**Q** 森林の機能を十分発揮するために今何をすべきか優先順位を付け、森林環境譲与税を有効活用した計画的かつ効果的な事業展開が求められるが、その考えは。

**A** 森林環境譲与税は、時限立法的な制度であるので、山間部の自治体として、しっかりと森林環境譲与税を活用し、成果を生み出し、

制度が永遠に続くように要請していきたいと考えます。

### 《市全域の魅力を引き出す観光地づくりについて》

**Q** 下呂温泉だけに頼らず、各地域の温泉や食などのさまざまな魅力的資源を総合的に発信していくことが望まれるが、その考えは。

**A** 下呂温泉だけでなく、各地域の観光資源を周遊していただける裾野の広い観光を目指しています。しかし、下呂温泉への観光客に各地域へ回ってもらうには、受け皿が弱い部分もあり、それをどうサポートしていくかが課題となっています。各地域にとっては、観光客呼び込むチャンスが非常に大きく、各地域の方々と、どうしたら観光客をつなぎとめることができるのか、地域が元気になるための協議を進めていきたいと考えています。

### 《観光客の受け入れ環境の整備について》

**Q** 観光客に快適な環境を提供するため、喫煙者への配慮と、受動喫煙防止の観点から、喫煙所の設置の考えは。

**A** 温泉街の喫煙所については、過去にも検討した経緯があります。適所がなく設置に至っていないのが状況です。このため、旧下呂温泉病院リハビリ棟跡地に整備する駐車場の設計の中で、設置ができないか検討いたします。

### 《飛騨川公園の再整備について》

※公園内の施設や設備は老朽化し、更新時期を迎えているため維持管理に必要な修繕を行うと共に、市内拠点公園として多世代間の交流が行えるよう再整備。

**Q** 飛騨川公園は、南北に距離があり、南側のグラウンドゴルフ場近くにトイレがないことから、利用者から設置を望む要望があるが、トイレ整備計画は。

**A** トイレ整備については、要望を受けており、令和5年度に設計業務に取り組む計画です。河川敷としての制約や、既設下水道とのつなぎ込み等、技術的な課題もありますので、配置場所は、十分な検討が必要となります。

### 《消防団の団員不足対策について》

**Q** 地域の安心安全を担う消防団員の現状と確保対策は。

**A** 消防団幹部から、各自治会を通じて入団のお願いをしています。が、社会事情の変化や、生産年齢人口の減少等により、入団数が確実に減少しています。今後は、機能的消防団員（能力や事情に応じて特定の活動にのみ参加する消防団員）を充足させていくなど、消防団の組織改編計画に合わせ、検討していかねばならないと考えています。

### 《地域の文化財公開活用事業について》

※市内各地域の文化財に再度スポットを当て、その価値を積極的に公開。また、収蔵資料の整理と新たな文化財の掘り起こしを担う調査員（学芸員有資格者）を配置。

**Q** 具体的にどのような事業を計画しているのか。また、新たに配置する学芸員資格を持つ調査員の専門分野は。

**A** 令和4年度に主任学芸員を迎え、地域や学校の歴史的資料の収集、整理、研究に着手しました。今後は、それをしっかり保存し、ふるさと歴史記念館を活用して公開していくこととします。また、市民の皆さまへの歴史学習のためのアウトリーチ活動にも取り組んでいきたいと考えています。なお、新たに配置する調査員は、近世歴史分野に造詣が深い方になります。

### 《学校給食地産地消推進事業について》

**Q** 地産地消を推進するため、学校給食に郷土料理や地元食材を取り入れているが、現状での具体的な品目は。

**A** 下呂市産のお米のほか、牛丼に使用する飛騨牛肉、デザートに春の郷土食である「あねかえし」を予定しています。また、慣行栽培でなく、有機栽培で作られたトマトを使用することも考えています。

## 総務教育民生 常任委員会

3月13日、定例会初日に付託された25議案について審査した結果、全て可決すべきものと決しました。主な審査内容は次のとおりです。

### 《下呂市金山リバーサイドスポーツセンター等の指定管理者の指定について》

※下呂市金山リバーサイドスポーツセンター・下呂市リバーサイドスタジアム・ぬく森の里運動公園の指定管理者として、スポーツマックス・三幸共同事業体を指定するもの

**Q** 施設利用者の現状、およびトイレの温水便座化の計画は。

**A** 新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりスポーツ人口が減少し、コロナ禍以前の施設利用状況に戻るには、しばらく時間を要することから、下呂市と指定管理者が一体となつて、施設の利用促進、さらには経費削減と収入増加を図る取り組みを強化し、施設の継続的な運営を目指してまいります。また、当該施設に限らずスポーツ施設等公共施設の温水便座化については、計画的に取り組んでいきます。



金山リバーサイドスポーツセンター

### 《下呂市国民健康保険条例の一部を改正する条例について》

※令和5年度分国民健康保険税の税率および税額を改めるため、改正するもの

**Q** 今回の税率改正のポイント

**A** 被保険者一人当たりの税額を前年度より年平均1500円程度減額とする改正を行います。区分ごとの内訳では、医療給付費分は資産割を廃止し、均等割および平等割は前年度からの減額状態を維持します。また、後期高齢者支援分、介護給付分は据え置きとします。ただし、法改正に伴い賦課限度額を2万円引き上げます。

団塊の世代が75歳を迎え、後期高齢者医療へ加入し始めたことや、人口減少等から、国保加入者が減少している一方で、一人当たりの医療費は増加傾向にあるため、国保財政はますます厳しくなっていくと考えています。本来

であれば税率を引き上げて財源を確保しなければならぬ状況ですが、新型コロナウイルス感染症対策の経済的支援の縮小、さらに昨今の急激な物価高騰による家計への影響を考慮し、被保険者の負担軽減を行うものです。

なお、平成30年度以降令和2年度までは、一人当たりの税額を毎年引き上げましたが、令和3年度は1万3千円減額、令和4年度は1600円引き下げてきており、下呂市の一人当たりの税額は県内21市で低い方から6番目となっています。

### 《下呂市文化財保護条例の一部を改正する条例について》

※下呂市の登録文化財について新たに規定するため、改正するもの

**Q** 登録文化財の登録方法は。

**A** 現在の登録文化財は、国の指定である建築物のみであるが、建築物以外の登録を可能とするための条件整備を行うため、条例の改正を行い対応するものです。条例改正後に内容を協議しながら、登録方法等について細かく決めていきます。

## 産業経済常任委員会

3月14日、定例会初日に付託された4議案について審査した結果、全て可決すべきものと決しました。主な審査内容は次のとおりです。

### 《下呂市飛騨小坂ふれあいの森の指定管理者の指定について》

※下呂市飛騨小坂ふれあいの森の指定管理者として、合同会社灯りを指定するもの

### 《下呂市ふれあい広場条例について》

※かねてより整備が進められてきました「(仮称)イベント広場」が完成し、名称を「ふれあい広場」として、施設の目的、使用等に関し、必要な事項を定めるため、条例を制定するもの

#### 【設置目的】

市民と観光客との憩いの場を提供し、市民相互または市民と観光客との交流を促進するとともに、地域産業の振興に資するため。



下呂市ふれあい広場

★委員会付託案件の審査内容を動画共有サービスYouTubeにて視聴できます。



★委員会付託案件の審査内容を動画共有サービスYouTubeにて視聴できます。





議員名下のQRコードから代表質問の映像を動画共有サービス「Youtube」にて視聴できます。



4番 議員 森 哲士



政策研究会「臯」が提出した政策提言事項の令和5年度予算への反映と取組状況について

①「下呂市若年者地元就職支援金交付事業」の取組みについて。

### ◆観光商工部長

制度の活用実績は、昨年度4社5名、うち25歳未満4名、30歳未満1名。今年度は5社6名で全員25歳未満の見込み。制度の周知に努めているが、実績は伸び悩んでいる。求人事業者からの意見も踏まえ、年齢要件を見直し、令和6年度から適用する予定である。支援金額の見直しや周知など、求人事業者と協議を行い、効果が上がる制度となるよう今後も前向きに検討していく。

②ふるさと納税型クラウドファンディングの新規事業化について。

### ◆まちづくり推進部長

財政負担の軽減だけでなく、地域の魅力発信という観点からも有効な手法であることから、共感を得やすい事業の実施においては、クラウドファンディングを積極的

に活用していきたいと考えている。

企業版ふるさと納税については、令和4年度末から取り組みの強化を進めており、令和5年2月に下呂市の入札参加資格者名簿に登録された事業者のうち市外に本店を有する事業者328社に、寄附の募集に関するダイレクトメールを送付した。さらに、民間のサービスを活用した寄附の募集にも取り組むこととしており、現在2社との間で契約の準備を進めている。

③市民の憩いの場としての公園の再整備に向けた取組みについて。

### ◆まちづくり推進部長

令和4年度に設置した公園緑地整備検討協議会では、子育て世代を中心にこれまで3回の会議を開催し、整備方針や保護者からのアンケート、遊具の整備を行う公園の選定、整備の期間などについて協議を進めてきた。整備方針としては、「持続可能」な公園整備、子育て世代のための遊び場の充実、地域バランスの確保、地域の小規模な公園の整備の方向性を明確にし、遊具整備の計画期間は、令和5年度から7年度を予定している。令和5年度に飛騨川公園の遊具整備を実施し、令和6年度以

降からの順次各地での整備を検討している。

市長が目指す下呂市の将来像と、その実現に向けた令和5年度以降の重点施策について

①令和5年度の施策方針における市長が目指す下呂市の将来像について。

②市長の公約である「下呂市が持っている多くの可能性に挑戦し、活力と魅力ある、わくわくするまちづくり」を実現するための、将来を見据えた「人口減少対策」と「地域間バランス」に係る今後の具体的な取組みについて。

### ◆市長

人口減少対策とまちづくりは、今後取り組むべき重要課題だと思っている。

住んでいる住民が本当に幸福で豊かだと感じていただけるまち。自然豊かで安全安心で魅力を感じるまち。これを磨き上げていきたい。

1点目の幸福度が高いまちづくり。特に取り組みたいのは子育て支援と高齢者も含めた健康福祉。具体的には公園、遊具の整備、18歳までの医療費無償化の拡充、子育て支援センターの建設、学校教育環境の充実をしっかりと進めていきたい。あとは学校給食の地産地消、高齢者福祉施設建設の準備

として、施設の今後のあり方の検討を今から始めていきたい。その他、地域医療の充実をどうするか。市民の皆さまが安心して生活できるまちづくりを進めていきたい。

2点目の魅力あるまちづくり。カーボンニュートラル、CO<sub>2</sub>の削減を進め、地球温暖化に対してどれだけ市が一生懸命頑張っているかが重要。その一つとして、ごみの減量化に取り組んでいる。資源のリサイクル化、美しい里山、森林整備、農地整備、道路整備、濃飛横断自動車道の早期完成、生活基盤整備。あとは温泉街や下呂駅、旧下呂温泉病院の跡地も含めたまちづくりをしっかりと進め、プラスタ萩原・金山・小坂・馬瀬の観光資源の発掘と整備を温泉とタイアップしてやっていきたい。各地域がそれぞれ魅力を発信できるような地域整備をしっかりと行っていきたい。

将来的に5年、10年、20年かけて行っていくことをこの令和5年度から一歩ずつ進めていきたいと考えている。

## 政策研究会 臯 (さつき)

- 田中 喜登
- 鷺見 昌己
- 森 哲士
- 中島ゆき子

# 一般質問 11人が市政を問う

各議員名下のQRコードから一般質問の映像を動画共有サービス「Youtube」にて視聴できます。



8番 (公明党)  
田中副武議員



**支え助け合う地域社会の構築へ**  
①認知症の方や家族が安心して暮らせる共生社会の実現に向けて、市の対策を伺う。

◆福祉部長

令和4年3月に策定した「第4期下呂市地域福祉計画・地域福祉活動計画」に、地域の支え合いの考え方を取り入れ、その実践を通じて地域共生社会の実現を目指している。

②気候変動による災害の激甚化や頻発化に対して、個別避難計画や防災行動計画(タイムライン)の策定が重要と考えるが、市の取り組みについて伺う。

◆総務部長

個別避難計画は、今年度、福祉部を中心に危機管理課と協働して居宅介護支援事業協議会の皆さまを交えながら作成に向かっていく。防災行動計画は、市民の皆さま個々に作成していただけるよう啓発している。

◆福祉部長

令和2年、3年の豪雨災害での経験を踏まえ、今後は、市と福祉

施設運営者との協議も進め、まずは福祉避難所を確保し、個別避難計画につなげていく。

**子育て環境の整備について**

日本学生支援機構は、企業が社員奨学金返還額を機構へ直接送金(代理返還)できる支援制度へと改善した。制度導入企業に対して行政が支援を行い、地域の活性化を図ることが有意義であるが、その考えは。

◆観光商工部長

この制度は、Uターン就職のきっかけとなると考える。今後は関係機関と連携して制度登録への周知や、市の支援事業等も合わせて制度利用を促すなど、事業者の皆さまからのご意見を伺いながら検討をしていく。

**救急車の適正な利用について**

救急車の出動件数は、全国で前年比約26万件増加し、今後も増加すると見込まれている。

岐阜県では、10月を用途に電話番号「#7119」を設置するとしている。市の体制について伺う。

◆消防長

救急車の適正利用に関し、「#7119」の導入は有効であり、限られた医療資源を有効に活用する一翼を担えると考えている。令和5年秋頃より岐阜県全域で運用予定であり、当市も足並みをそろえるよう準備を進めている。



6番  
尾里集務議員



**岐阜県南飛騨健康増進センターおよび周辺エリアの今後の活用について**

①市としての今後の活用方策は。

◆まちづくり推進部長

下呂市が県施設の指定管理者となり地元や関係事業者の方々と協働し、農業や森林空間を生かした健康体験の拠点づくりができないか、その実現の可能性も含めて検討している。

◆農林部理事

周辺の市有林については、地域で活動するNPO団体や、岐阜県立森林文化アカデミーの協力をいただき、森林・環境教育の場としても利用できるよう整備を進めていきたい。

②飛騨川温泉しみずの湯との連携強化の考え方は。

◆市民保健部長

市が指定管理を受託できれば、しみずの湯が持つ健康づくりの人材と周辺環境・施設等を活用し、これまでの知識・経験を生かした魅力的なプログラム開発が可能であると考える。

**令和4年度における市の組織再編の成果と課題について**

市民ニーズに応えた市役所づく

りを目的としていたが、その成果は。

◆総務部長

まちづくり推進部、こども家庭課、デジタル課の創設により、その名が示すとおり業務分担がわかりやすくなり、市民保健部の創設による健診業務の連携強化、デジタル課によるリモート会議や業務の効率化が図られ、併せて市民サービス課の窓口拡充によるワンストップサービスが充実したと考える。

**下呂市における今後の学校運営について**

市内小中学校の児童生徒数が今後減少する見込みの中で、学校統合に向けた考えは。

◆教育委員会事務局長

下呂市小中学校適正規模検討委員会の報告書にある望ましい適正規模、教育環境、保護者や地域住民にとつての学校の在り方を十分考慮した上での検討課題である。より良い教育環境については、10年先を見据えた考え方が必要である。

**受動喫煙対策について**

観光立市の取り組みとして、喫煙所設置の考えは。

◆観光商工部長

昨年度、温泉街での喫煙所設置の可能性について検討したが、設置に適当な場所がないことや、管理上の課題があることから設置には至っていない。引き続き検討を行っていく。



5 番  
田中喜登 議員



### コロナ収束後の教育の在り方について

①いまだだかつて経験したことのないコロナ禍という戸惑いの教育現場の中で、教職員、児童生徒、保護者が学んだものとは。

#### ◆教育長

新しいもの・方法を創造していく力。感謝の心。やってみる、経験することの大切さ。健康のありがたさを学んだ。

学校や地域、家庭なども含め、多くのことに気づかされ、新たな知恵を得ることができ、あきらめず、学びを止めずに試行錯誤したことは、未来に向けて役立つものと思う。

②コロナ禍を乗り越えつつある今、これからの下呂市の教育には何が必要なのか、どんなところに希望を見出し、どのような将来像を描いているのか。

#### ◆教育長

下呂市の教育環境、教育資源に感謝する。地域ぐるみの子育ての展開は、下呂市の教育の強みでもあり誇りでもある。心の通った教育をこれからも展開していきたい。

い。その他、教育DXの有効な活用や一人一人の困り感、多様化するニーズに応じた学びの環境・体制を整えたい。

### 地域振興部新設に係る評価検証について

①新設されて1年を経過しようとしているが、これまでの地域振興に対する貢献等、具体的にどのような成果が生み出されたのか。

#### ◆地域振興部長

今年度は、各振興事務所における情報共有・認識の整合を図りながら、地域振興部がまとめ役となり、各部と振興事務所間の調整等を行い、統一的な業務の執行に努めてきた。

市民会館や公民館の運用、原材料支給等の取り扱い、地域おこし協力隊や集落支援員の設置、ごみの出し方の変更等に係る調整を行っている。

②令和5年度における地域振興部としての業務目標は。

#### ◆地域振興部長

令和5年度は、移住定住推進専門員を配置し、移住定住に係る相談支援体制の強化を図る。その後、関連窓口の一本化など、その仕組み・体制の構築に向けて各部との連携強化、検討を進めていく。また、人口減少を見据えた持続可能な地域づくりの取り組みを自治会や地域、各振興事務所と共に進めていきたい。



3 番  
飯塚英夫 議員



### 若者があふれる日帰り温泉施設について

市内の温泉利用人口拡大に向けて若者を取り込む施策として、幼少期から温泉の魅力を発信できる能力を身に付ける目的で、市内小学生の利用料金を全額、同伴家族の利用料金の半額を市の負担とし、温泉の素晴らしさを次の若い世代に引き継ぐ、「こども温泉大使制度」を提案する。

#### ◆観光商工部長

市内小・中・高等学校、特別支援学校において、子どもたちに下呂市の観光や温泉について理解を深めてもらうため、観光講座を実施している。引き続き、今後下呂市の大切な資源である温泉について親しみ、理解していただけるよう普及・啓発を行っていきたい。

#### ◆市長

温泉利用人口を拡大していくことは、市の役割として重々認識をしており、そのような方法も含めて多くの方々が入っていただくよ

うな研究をしっかりとしていきたい。

### 市民・観光客を対象とした弾道ミサイルに対する避難訓練の実施について

北朝鮮の弾道ミサイル発射により、昨年10月・11月とJアラート通報が相次ぎ、県内でも有事への備えが進められている。

市内では平成29年に市民が参加する訓練が行われた実績はあるが、公共・民間を問わず、地下道など「緊急一時避難施設」の再認識をし、弾道ミサイルの飛来を想定した市民・観光客を対象とした市独自の避難訓練を実施する考えはないか。

#### ◆総務部長

一般的にそういった場合の避難場所については、地下や強固な建物内が有効とされているが、市内に有効な場所が少なく、すべての方が逃げ込める施設などがない。

Jアラートによるミサイル発射の警告が発せられた場合は、物陰に隠れる、少しでも頑丈な建物の中に入る、周囲に何もなければ身を低くするなどの瞬時の行動ができ、しっかりと命を守ることができると啓発していくことが市の責務と考える。



13番 (日本共産党)  
中島新吾議員



物価高から市民のくらし 中小規模事業者経営をしっかりと支援を  
①地域経済を担う中小規模事業者の支援策は。

◆観光商工部長

経営環境の変化に対して経営改善や事業承継等により事業の見直しがされる際には、「経営発達支援計画」に基づき市と商工会による支援を進める。

②市は入札参加資格にインボイス登録を必要としないこと。

◆まちづくり推進部長

入札参加資格の要件として定める予定はない。

③中小企業・小規模企業振興基本条例制定への取り組みを。

◆観光商工部長

経営発達支援計画等、個々の計画を総合的に進めることが重要であり、その根拠となる条例として、制定に向け前向きに検討する。

「持続可能な地域」のため 農業が続けられる施策と支援を

従来からの施策だけでなく、農業を担う者の確保および育成が大事。

①家族農業を励ます施策を。

◆農林部長

アプリ事業者と連携した農業担い手のマッチング、所得向上や生活安定に向け、兼業収入で生計を立てる「半農半X(エックス)」の取り組みを始め、労働力不足解消を目指している。

②学校給食に地元農産物活用を増やす。

◆農林部長

学校給食地産地消推進事業により給食に下呂市産米を使用し、郷土の食材と農業への理解を深め、食育推進と農業振興を図る。

◆教育委員会事務局長

食育の一環として地元食材の理解を深める取り組みを行い、地元食材の使用を推進していく。

脱炭素社会への転換は 総合的なまちづくりと連携して

特に、再生可能な自然エネルギーの活用を。

◆環境水道部長

地域の特性を最大限生かした再生可能な自然エネルギー設備導入の検討が必要と考える。

災害の時代に対応した体制を

市は災害時におけるきびしい想定を基に、危機管理体制の検証が求められている。

◆総務部長

危機管理体制の見直し、広域的な人員応援体制の構築、自助共助の推進など、市が一体となって進めていきたい。



10番  
伊藤厳悟議員



下呂市森林づくり基本計画について  
①計画策定までの経緯について。

◆農林部理事

森林経営管理制度や森林環境譲与税が始まるなど、林務行政を取り巻く情勢が大きく変化し、市森林管理委員会から「市でも中長期的な方針を示す必要がある」とのご意見をいただき、計画を策定することとした。

委員会では、2年間で延べ24回会議を開催し、議論や調整を行い、県農林事務所との協議を重ね、パブリックコメント実施による意見の反映を経て策定した。

②計画の特徴について。

◆農林部理事

計画の基本理念は、「100年先を見据えた温故創新の森林づくり」。施策の柱である①森林を守り育てる、②木を活かす、③森を知り・森を活かす、という基本方針に基づき、現状と課題、施策の方向性、具体的な施策を取りまとめると共に、10項目の目標数値を定めている。

厳立峽ひめしやが湯の営業休止を踏まえて

①その他市内関連施設への対応について。

◆まちづくり推進部長

これまでの公の施設見直し事業の取り組みを踏襲しつつも一律的な判断を行うのではなく、安心・安全な施設管理を第一に各施設の効果や必要性、取り巻く環境、利用状況や施設維持に要する費用等を把握・整理し、各施設の在り方を見定めていきたい。

②税収減の現状の中でふるさと納税増額による対策について。

◆観光商工部長

返礼品数のさらなる増加に取り組むため、事業者を訪問したり、市場の動向を見ながらアップデートを図っていく。また、情報発信力の強化として有効であるものを見極めながら活用していきたい。

県道改良の見直しについて

市内の主要な県道の改良事業に係る要望状況およびその進捗について。

◆建設部長

各自治会等からの要望事項は、市建設部を経由して県下呂土木事務所へ伝達し、地域それぞれ課題に応じて事業計画を進めていただくようお願いしている。要望内容に対し丁寧な回答をいただき、順次事業が進められている。



2番 田口琢弥 議員



**市内商工会との連携について**

「下呂市地元応援商品券2022」について。

①利用状況と換金状況は。また、経済効果と市民・市内商工事業者の評価は。

◆観光商工部長

換金率97・71%であり、商品券の利用額以上の経済効果や、商品券に絡めてのイベント実施などにより換金額に現れない相乗効果もあったものと考えます。事業者の良いい評価がある一方、課題やご意見もいただいた。今後、市民の皆さまに対するアンケートを実施して事業の検証を行いたい。

②今回で3度目の配付となったが、問題点と今後の課題は。

◆観光商工部長

紙の商品券であるため、印刷や郵送経費、換金処理の手間が課題である。デジタル化について関係課や商工会、事業者とも連携して進めていくことを検討している。

③市、商工事業者、商工会の現在の連携状況と今後の協力体制の考え方は。

◆観光商工部長

商工会と共同で策定した各種計画に基づき、小規模事業者の経営

改善や、創業予定者や新規創業者の支援を連携して行っている。

来年度以降も各種計画の推進や、国の事業の導入についても連携して実施していく。

**市監査委員の選任のあり方について**

①選任に当たっての考え方と任期は。現在の監査委員が持つ資格と就任年数は。

◆監査委員事務局長

地方自治法の規定や全国的な選任状況を鑑み、委員候補者を選考している。

現委員は税理士資格を持ち、経営状況などの把握に専門的知見を有する委員と、元市職員で自治体運営に関する専門的知識を有する委員の2名。任期は4年で現在1期目の3年目である。

②今後の監査委員選任のあり方は。

◆副市長

地方自治法に規定された選任の考え方を基本とする。関係法令のほか、非常に多くの知識が必要であり、監査現場の経験値も重要と考える。

**多文化共生社会の実現に向けて**

「下呂市多文化共生推進基本方針」における行政サービスの各課題の進捗状況は。

◆まちづくり推進部長

翻訳アプリの導入による外国人への行政情報の発信や、雇用事業所との意見交換会により情報共有や課題の把握などに努めた。



12番 (日本共産党) 吾郷孝枝 議員



**もつと子育て支援に全力を**

今、深刻な少子化に直面しており、子育てしやすい環境を整えることが緊急課題と考える。3歳未満児保育料の無料化に向けた取り組み推進と、保育士不足の解決に向けて安定した保育環境の確保のために、会計年度任用職員の正規職員化を。

◆福祉部長

3歳未満児保育料は、家庭で保育を行う世帯との公平性も考慮し、近隣市の保育料とも比較しながら負担軽減について検討していきたい。

◆市長

女性が働ける環境整備はしっかりとやっていきたい。将来的にも、今しつかり検討して公約の実現に向けて努力していきたい。

**高齢社会に向き合った補聴器助成で聞こえのバリアフリー化を**

認知症予防、高齢者の社会参加促進で、元気な地域を作るためには、補聴器購入助成で聞こえのバリアフリー化の推進が必要では。

◆福祉部長

介護予防事業を進めるに当たっては、難聴の有無に関わらず、体の衰えを感じる人すべてに公平な対応をすることが重要と捉え、集いの場や各種活動への参加など、人とのつながりの機会を増やし、それぞれの体の状態に配慮しながら、元気な地域づくりへの取り組みを進めていきたい。

**軍備拡張・増税は市民の暮らしを圧迫**

軍拡財源の大増税の圧力は、社会保障や教育予算を削り、物価高騰で困窮する市民をさらに追い詰めることになる。また敵基地攻撃能力の保持は、近隣諸国との緊張を高め、インバウンドなど交流人口の減少を招き、観光地下呂市にとっても影響がでると思うが市長の見解は。

◆市長

当然、観光に影響が出ることに非常に心配している。物価高や近隣国との緊張も含めて最近の世界情勢を見れば、元から言えばロシアによるウクライナ侵攻にあると思う。これが長引けば日本にも下呂市にとっても非常に大きな問題であるということで危惧している。1日も早い戦争の終結を望んでいる。



1 番 議員  
阿部 昌己 議員



## 持続可能なまちを実現するための 移住定住事業の推進について

①新規に配置される「移住定住推進専門員」の設置目的および業務内容は。

### ◆地域振興部長

移住定住施策の強化を進めることを目的とし、移住定住の相談、空き家の調査および情報収集、移住者への支援・相談、(仮称)下呂市移住定住推進センター設置に関すること等を行っていただく。

②移住定住推進に向け、県人会や観光大使等ゆかりのある方との連携状況は。

### ◆地域振興部長

現状、移住定住として県人会や観光大使の皆さまとの関わりがないため、今後どのように連携できるか担当部署と協議していききたい。

### ◆観光商工部長

県人会の総会や交流会に市長も参加して情報交換を行っている。観光大使の方には毎月広報紙を送付する他、市内の観光情報を随時お知らせしている。

## 脱炭素社会実現に向けた取り組みについて

①ゼロカーボンシティ宣言に向けた取り組みの現状は。

### ◆環境水道部長

令和5年度に予定する第二次下呂市地球温暖化対策実行計画の見直しに合わせ、「ゼロカーボンシティ下呂」を宣言したいと考えている。ゼロカーボンの実現に向けた取り組みを官民一体となった組織を立ち上げて進めていきたい。

②太陽光発電設備の設置が引き起こす景観や自然破壊などの問題に対する対応は。

### ◆建設部長

開発協議を行う中で、事業者に施設の配置・構造・工程など細部の技術的検討を求め、関係法令、条例等の遵守による災害防止や良好な生活環境の確保を図り、トラブル等を未然に防ぐための対応を行っている。

## 人と動物との調和のとれた共生社会の実現に向けた取り組みについて

不妊去勢手術に対する市による支援の考えは。

### ◆市民保健部長

近隣の市町村において無料不妊手術の自己負担に対する支援は行われていないが、今後の手術頭数状況を把握しながら支援について慎重に検討していきたい。



14 番 議員  
中島 達也 議員



## 家庭ごみの出し方変更に係る市民周知について

広報げる等でごみの出し方変更の市民周知がされているが、多くの市民はまだ十分理解がされておらず、戸惑いと不安を抱えている。スムーズな移行を願い、今一度見解を伺う。

### ◆環境水道部長

広報げる1月号、下呂ネットサービス「まめなかな」などでお知らせしているが、引き続きホームページや市民メール、同報無線を活用して周知する。

4月1日からもえるごみ、ペットボトルの出し方を変更し、また、不燃ごみの出し方の変更については、令和5年1月からモデル地区で実証実験を行っていただいているが、現在のところ大きな混乱もなく進められている。モデル地区で見解を伺い検証し、令和5年11月を目途に市全体での取り組みとしていきたい。お問い合わせやご意見をいただきながら、必要な改善を行っていきたい。

## 下呂温泉合掌村の今後の運営について

合掌村は、下呂温泉の重要な観光施設である。現在10棟の茅葺き家屋があり、多くの観光客に日本の原風景を堪能していただいている。今後、この合掌村を健全に維持していくためには、計画かつ効率的な茅葺き屋根の葺き替えを行うと共に、さらなる魅力を取り込み、観光客だけではなく市民にも愛される施設にする必要がある。

茅の調達や茅葺き職人不足は深刻で、自前調達・自前対応を視野に入れ、今後の運営について伺う。

### ◆観光商工部長

ここ5年間は、屋根の葺き替え工事を行っていないが、雨漏りがするなど老朽化が顕著な屋根もあることから、新年度予算に葺き替え費用を計上している。

屋根の葺き替えは、16年かけて行うよう計画している。

茅を市内で栽培ができるようになれば、輸送コストの削減や、葺き替えを生業とする方の育成や市内の方に葺き替えを委託することも想定できる。このことは耕作放棄地の有効活用にもつながり、市民の皆さまが関係することで関心をもちたい。ただ、市民の皆さまに愛される施設につながると考える。



11番  
一木良一議員



**黒戸谷流域整備について**

予備調査後に判明した新たな問題点と今後の施工計画について。

◆建設部長

下水道管の移設が非常に困難であること、昨今のゲリラ豪雨に対応できないことも想定されるため、計画の河床高をできるだけ高くすることなど、再度検討する必要がある。今後、地域の皆さまのご理解と同意が必要になるため、設計案が固まり次第、地元説明会等を開催しながら、河川改修事業へのご協力をお願いしていきたい。

**小坂町大島1号線(踏切)橋(斎場)区間の道路拡幅整備について**

具体的な施工方法と計画について。

◆建設部長

地域住民の重要な生活道路であることから、特に狭い区間で一部幅員改良をする予定である。市道山側の開渠構造排水路の約16m区間をふた付き側溝に改修することにより最大で幅約1mの平場ができるため、その部分を待避スペース

スとして活用できないかと考えている。車両2台が縦列で待避できるようにになり、車列とのすれ違いも容易になると考える。また、同箇所谷側の路側に天端工を約20m施工し有効幅員の確保に努める。その約30m先の薬師堂付近は、現在関係機関と協議中であるが、協議が整えば施工延長約10mの山留石積工を計画しており、車両1台分の待避スペースが確保できる。

**戦没者の慰霊行事について**

①県、他自治体における慰霊行事の実施状況について。

◆福祉部長

県内21市のうち15市が追悼式という名称で全市的に実施している。各地域の慰霊祭が高齢化により継続が難しくなったため、統一して実施されているものであり、主催は遺族会や市との共催など、さまざまな形がとられている。

なお、戦後80年を迎える令和7年度に、市としての慰霊行事を開催できないか、さまざまな諸課題があるが検討している。

②下呂市における慰霊行事については、令和6年度での実施の可能性は。

◆市長

遅くとも令和7年までには実施するが、令和6年に前倒しできるかどうかは、しっかり検討させていただきます。

**下呂駅周辺エリア等整備特別委員会**

3月10日、特別委員会を開催し、市長および担当部局から現在の状況報告を受けました。

**《旧下呂温泉病院跡地の活用について》**

令和5年1月31日に幸田区民を対象とした地元説明会を開催し、跡地活用に向けたこれまでの検討の経過、跡地活用委員会での協議内容、現時点でのリハビリ棟跡地と本館棟跡地のそれぞれの活用方法等について説明がされました。その中で駐車場の管理運営方法や今後の進め方、本館棟跡地に整備する臨時駐車場について意見や要望はありましたが、出席された区民の方々からは、反対意見はなく、理解を示していただいたとの説明がありました。

**《下呂駅周辺整備基礎計画検討事業について》**

従来から課題となっていたJR下呂駅東西間のバリアフリー化やバス停留所の機能不足の解消等に対応するための整備方針の素案作成に向けて調査の実施に必要な予算2千万円を計上。事業内容は、①下呂駅周辺の現況測量、②駅および周辺の交通量調査、③駅東西間のバリアフリー化工法の検討などを行うとの説明がありました。

**インターネットライブ配信**

本会議および常任委員会(付託案件審査)は、動画共有サービス(Youtube)にてライブ配信を行います。



<https://www.youtube.com/channel/UCALIKRpFipq7Mtpr-rJGKQ>  
配信済みの映像は、次回定例会までYoutubeにて検索・視聴できます。過去の配信映像は、下呂市ホームページから視聴できます。

読めます!!  
スマホで  
下呂市議会だよりが

インターネット上で無料閲覧できる、ギフイーブックスで配信中です。



## 濃飛横断道・リニア 特別委員会報告 どうなる下呂工区？

濃飛横断自動車道は、郡上市八幡町から下呂市を經由し中津川市へ至る約80kmの高規格道路で中央自動車道と東海北陸自動車道を結び、高速道路の空白地帯（下呂市）を補完することで地域間連携や県土強靱化に資する重要な道路であります。また、リニア岐阜県駅（中津川市）へのアクセスの利便性を向上させ、リニア中央新幹線の効果を県全域に波及させる役割を担う重要な道路であります。現在、下呂市保井戸から郡上市和良町間約8.1kmが供用されています。

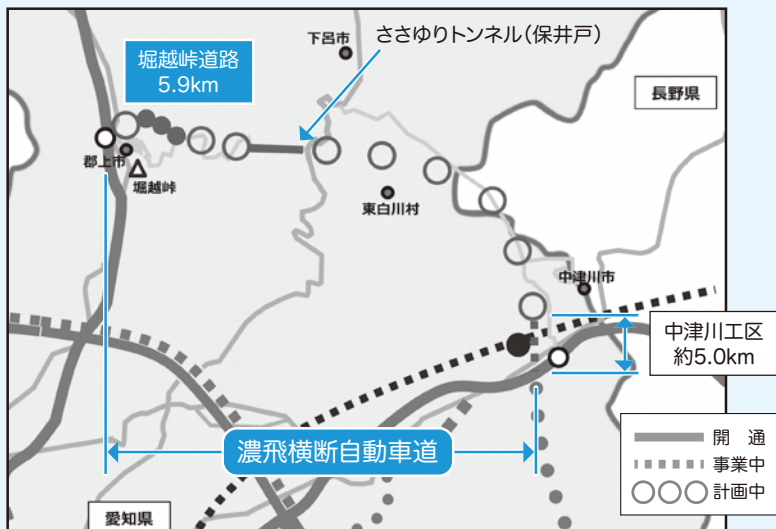
2月15日、当委員会は整備が続く中津川工区と堀越峠工区、八幡工区、和良工区の想定されるルートを確認し、現地で建設部職員から説明を受けました。

中津川工区は、中津川市茄子川（中央道接続）から中津川市駒場（美恵橋）までの約5kmで、現在橋脚設置工事が順調に進められています。

また、郡上市の難所「堀越峠」を回避する堀越峠工区は地すべり、破碎帯など難工事が予想されることから、国による権限代行による事業化が3月31日に決定されました。



中津川工区



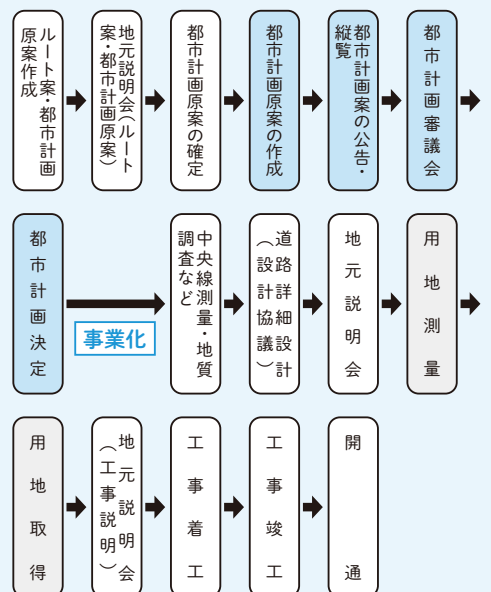
また、堀越峠工区からの残土を活かした和良工区（和良バイパス）、せせらぎ街道（国道472号線）を起点にする八幡工区の予想ルートの説明を受けました。

さて、下呂市が高速道路網のエアポケットになっていることから、平成元年、濃飛横断ハイウェイ（仮称）開設促進協議会が発足され、平成6年に地域高規格道路「濃飛横断自動車道」として、郡上八幡から中津川間約80kmが候補路線から計画路線に格上げされました。翌7年には郡上八幡・下呂間が調査区間に指定され、その後、平成24年に「金山・保井戸」間が開通し、翌年には「和良・金山」間が供用されました。

市民の念願である高速道路まで30分、県都岐阜市までの1時間構想を目標に下呂市議会は平成16年に道路整備特別委員会を設置し濃飛横断自動車道および国道41号の整備促進のために調査・研究を行ってきました。現在は、「濃飛横断道・リニア特別委員会」として活動を行っています。

濃飛横断自動車道は、観光、地域経済にとって重要な道路であり、多くの市民の願いであります。

現在、下呂市・中津川間は計画路線となっておりますが、国道257号線の一部改良が示されているものの「下呂工区」の整備状況が白色のままです。今後、当委員会は下呂工区事業促進に向け活動をしていきます。





## 議会基本条例の達成状況を検証しました。

下呂市議会基本条例は、議会の果たすべき役割や責任を認識し、市民福祉の向上のため、議会一丸となって全力で取り組んでいくことを決意し、令和3年3月定例会において制定（令和3年4月1日施行）したものです。本条例の第26条では、「議会は、この条例の施行の状況について議会改革特別委員会において検証し、その検証結果に基づき、必要に応じて、この条例の見直しを行うものとする」と規定されています。

このため、議会改革特別委員会を中心に、令和4年度における条例の各条項の達成状況について検証作業に取り組み、この度、その検証結果と評価を取りまとめましたので、お知らせいたします。

### 【主な検証結果・評価】

《 評価の段階：A「達成」、B「一部達成」、C「未達成」、－「対象外」 》

条 文	取組状況・実績等 (～令和4年度)	評価・今後の対策等	評価	
第5条 市民参加及び市民との連携	市民に開かれ市民参加を促進する市民と歩む議会を実現します	○本会議、委員会の原則公開 ○本会議のケーブルテレビ放送、インターネット配信 ○常任委員会付託案件審査のインターネット配信 ○市民と議会との意見交換会の開催 ○委員会会議録の閲覧手続きの簡素化	市民参加を促進する議会を実現するための具体的な取り組みとして、公聴会および参考人制度、請願陳情者の意見陳述制度の積極的運用に向けた検討が必要である。	C
		議会活動の透明性を高めるため、すべての委員会の審査状況が容易に知ることができるよう検討が必要である。	B	
		市民と議会との意見交換会は、効果的な実施方法等、今後の課題を残している。		
第8条 市長等との関係	執行機関と政策競争をする議会を実現します	○市民と議会との意見交換会、および議会への意見提案箱等における意見を市政に反映するため、所管委員会において調査研究を行い、必要に応じて政策提言を実施	執行機関と政策競争をするには、充実した調査研究と議員間討議が求められる。このため、さらなる議員の意識改革と資質向上、継続的な議論が可能な議会体制の構築が必要である。	B
第14条 議員間の自由討議	議員の資質、政策立案能力等の向上による議会の機能強化を図ります	○議員間自由討議に係る実施要領の検討、議員間討議を重視するための定例会会期日程のあり方に係る調査研究	議会は合議制の機関であることを十分に認識し、議員相互間の自由討議を中心とした運営に努める必要があり、自由討議を充実させるための実施要領等の検討が必要である。	C

\*議会基本条例は、制定して終わりではなく、その成果や課題を検証して、さらにレベルアップした条例に改正していくことが、議会活動の質の向上にとってとても重要です。そのためにも、この検証の取り組みを継続していきます。

\*すべての条項に係る検証結果・評価は、下呂市ホームページに掲載していますのでご覧ください。

## 委員会管外視察

### 産業経済常任委員会

2月7日から8日にかけて、岡崎市、豊田市、郡上市における観光・環境・農林業に関する施設を視察し、施設の運営状況等の説明を受けました。

#### 《岡崎市》

岡崎公園内にある大河ドラマ館を見学し、展示や映像でどのように魅力発信しているかなど説明を受けた後、「どうする家康」活用推進課より、市内経済団体で組織した「岡崎市徳川家康公顕彰推進協議会」との連携による大河ドラマを契機とした観光振興の取り組みについて説明を受けました。

令和3年4月に「どうする家康」活用推進課を設置して取り組みを始めたこと、大河ドラマが終わった後の取り組みを考える「アフター大河戦略推進ワーキンググループ」をすでに設置していることなど、先を見越して事業展開がされており、下呂市内の魅力はどう発信していくか、今後、議会として協議・



岡崎市

提案していくうえで大変参考になりました。

#### 《豊田市》

市街地近郊に立地されている渡刈クリーンセンターの運営状況と概要について説明を受け、施設内を視察しました。

ごみを処理した後に発生するスラグをほぼ100%活用するほか、余熱利用により発電し、施設で活用して余った電気は売却していました。さらに、余熱を利用して近くにある高齢者福祉施設へ温水を送っていました。

また、最新の公害防止装置を備える周辺環境に配慮した施設であり、処理方法など、今後、下呂市が計画するクリーンセンター建設の参考になり、ごみの減量化についても豊田市の取り組みについていきたいと考えます。



渡刈クリーンセンター



明治用水頭首工

豊田市明治用水水源管理所では、明治用水土地改良区の担当者から、昨年5月に発生した頭首工の大規模な漏水事故が起き

た原因と工事完成まで3年ほど要することなどを詳しく説明を受けた後、現場視察を行いました。

#### 《郡上市・長良川木材事業協同組合》

運営する工場では、原木を製材するまでのすべての工程を行っており、約10万5000平方メートルと広大な敷地内の各施設を視察し、担当者から説明を受けました。従業員の平均年齢は30歳代で、地元の高校から毎年2名から3名を常に採用されているとのことでした。

また、2025年にはバイオマス発電設備を稼働する予定であり、現在、敷地造成がされています。

製材の残りや、木の皮も捨てることなく利用していることは、一本の木を無駄なく使う、環境に優しい取り組みだと感じました。岐阜県と郡上市が合同で誘致したもので、企業誘致に取り組むうえで、参考にしたいと考えます。



長良川木材事業協同組合

## 編集後記

3月になると思い出す言葉があります。

『忙しくて、忘れた』。高校の卒業式当日、最後のホームルームで恩師が言われた言葉です。

「この言葉は社会生活の中で使ってはいけない。この2つの漢字、両方とも心を亡くすと書きます。心を亡くしてはいけない。忙しくて忘れる前に行動を起こさない。すぐに行動ができなければメモを取るなどして対処さない。」と言われました。果たして私はできているのか改めて考えてみるとなかなかできていません。忘れることはできるけど、忘れる前の行動は…。また来年も桜を見ながら、この言葉を思い出すのでしょうか。(T.T)

## 6月定例会会期日程(予定)

6月定例会の会期日程(予定)をお知らせします。  
なお、一般質問などの内容は新聞折込でお知らせします。

月	日	曜日	会議内容	時間
6月	2日	金	本会議(初日)	午前9時30分~
	16日	金	本会議(一般質問)	
	19日	月	本会議(一般質問)	
	20日	火	常任委員会	
	21日	水	常任委員会	
	22日	木	予算特別委員会	
	26日	月	本会議(最終日)	

※日程は変更になる場合があります。 場所：本会議(下呂庁舎3階議場) 委員会(下呂庁舎3階第1会議室)